

授 業 科 目 名	情報と職業（information and business）		
科 目 番 号	9005001	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	2-4 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	月曜・4 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	全学群		
担 当 教 員（連 絡 先）	水野 一徳（mizuno@cs.takushoku-u.ac.jp）		
オ フ ィ ス ア ワ ー	メールにて問い合わせること		
授 業 の 到 達 目 標	情報化が個人や社会に及ぼす影響（メリットとデメリット）について理解し、職業人としての情報の活用方法や倫理観を養うことを目標とする。		
授 業 の 概 要	<p>情報化の発達に伴い、様々なことが社会に影響をおよぼしている。</p> <p>これらの影響を多角的に捕らえ、情報産業の現状を把握すると共に職業としての情報について考える。また、情報分野における職業観及び職業倫理についても言及する。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回 情報化の進展:「情報と職業」の意義や情報化社会における職業間について概説する。</p> <p>第2回 情報化の進展が社会に及ぼす影響:情報化の進展による、我々の生活への影響や労働観の変化について概説する。</p> <p>第3回 情報産業の現状:情報技術や情報システムの変遷、IT 革命と企業における情報活用について概説する。</p> <p>第4回 情報化社会における情報産業の役割(1):企業や政府・地方自治体の情報化、セキュリティ等について概説する。</p> <p>第5回 情報化社会における情報産業の役割(2):情報化社会におけるこれからのビジネスモデルと経営について概説する。</p> <p>第6回 情報産業における人間の役割(1):情報技術と人材育成について考察する。</p> <p>第7回 情報産業における人間の役割(2):情報化社会で求められる人材とその育成や情報技術を援用した教育について概説する。</p> <p>第8回 情報産業において働くということ:情報化によるビジネス環境の変化、職場環境や仕事の内容の変化について概説する。</p> <p>第9回 情報産業および情報産業で働く労働者の倫理:知的財産の保護と活用、さまざまな情報犯罪について概説し、職業人としての倫理観について考察する。</p> <p>第10回 情報産業の今後の課題と展望:今後の情報化・情報産業の進展とそれに伴い起こりうる課題について考察して、それらに対する展望について概説して授業をまとめる。</p> <p>授業実施方法:manabaとTeamsを併用したオンラインで実施する。授業は基本的に正規の時限(月曜4時限)にTeamsを用いて同時双方向型にて実施する。ただし、授業の録画を配信することによりオンデマンド型にも対応する。詳細は、manabaのコースニュースへの記載、および初回の授業で説明する。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>Teamsにて出席確認を行なう。</p> <p>manabaにより授業中に適宜課題(小テスト)を課す。これらの課題(40%)、および期末レポート(60%)により総合的に評価する。</p>		
テ キ ス ト	特に指定しない(講義資料を適宜 manaba にて配布する)		
参 考 文 献	<p>近藤勲:情報と職業(情報教育シリーズ), 丸善 (2002).</p> <p>駒谷昇一他:情報と職業(IT Text シリーズ), オーム社 (2002).</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	<p>授業時に配布する資料や上記の参考文献等により学習する</p> <p>また、状況に応じて適宜課題を課す。</p>		
受 講 学 生 に 望 む こ と	<p>教職を志す学生はもちろん、普段情報システムや情報サービスを利用・活用している学生にとっても、その活用方法を学んだり倫理意識を高めたりすることは重要であるので受講を勧める。</p>		
備 考	<p>免許法に基づく高等学校(情報)の教員免許状取得に必要な旧課程「教科に関する科目」または新課程「教科に関する専門的事項」における「情報と職業」(1 単位)に対応する。</p>		